



一般会計

209億3,500万円

前年比10.2%減

総額 466億2,531万円

平成17年度予算編成では、合併が白紙になったことから、独自性のある特色ある自立のまちづくりに向けて、また第3次岡谷市総合計画後期基本計画2年目の年として、将来都市像「人と自然が共生する健康文化産業都市」の具現化に向けた6本の柱を基調とし、7項目を重点施策（4ページ参照）に予算編成を行いました。

会計別では、一般会計が209億3,500万円で、前年度当初予算に比べ23億8,000万円、10.2%の大幅減。特別会計（湊財産区を含む）は、113億2,970万円で、前年度比1.9%の減となりました。岡谷病院・塩嶺病院と上下水道の企業会計は、143億6,061万円で前年度比0.2%の増となり、総額466億2,531万円で前年度比5.2%の減となりました。

「人と自然が共生する健康文化産業都市」の
実現に向けて



岡谷湖畔公園

平成17年度の国の予算は2010年初頭における基礎的財政収支の黒字化を念頭に置き、構造改革を一層推進するため、「改革断行予算」という基本路線を継続し、持続的な財政構造の構築と予算の質の向上を図る必要があるため、歳出改革を一層推進し、一般会計および一般歳出については実質的に16年度の水準以下に抑制することを基本としています。

こうした状況の中で、国は三位一体の改革に伴い、国庫補助金負担金を平成17・18年度予算におい

て3兆円程度の廃止・縮減を行うなど、今後さらに地方財政は厳しい運営を強いられることとなります。

この影響により、17年度の岡谷市の当初予算編成においても、1億9800万円の所得譲与税は見込まれるものの、地方交付税、臨時財政対策債および国庫補助負担金等、平成16年度削減分の影響を含めると、約15億1200万円程度の削減が見込まれることから、差引き約13億1400万円の影響があるものと見込まれており、普

平成17年度予算一覧

会計名	予算額	前年度比較	増減率	
一般会計	209億3,500万円	△23億8,000万円	△10.2%	
特別会計	国民健康保険事業	43億9,400万円	△900万円	△0.2%
	地域開発事業	14億1,490万円	△1億1,260万円	△7.4%
	分収造林事業	2,610万円	△360万円	△12.1%
	交通災害共済事業	4,570万円	330万円	7.8%
	霊園事業	1,990万円	570万円	40.1%
	老人保健事業	53億6,100万円	△9,100万円	△1.7%
	温泉事業	2,330万円	△410万円	△15.0%
	訪問看護事業	4,160万円	△200万円	△4.6%
計	113億2,650万円	△2億1,330万円	△1.8%	
湊財産区一般会計	320万円	△130万円	△28.9%	
企業会計	岡谷病院事業	51億0,389.5万円	3,078.9万円	0.6%
	塩嶺病院事業	47億4,685万円	3億4,764.8万円	7.9%
	水道事業	15億0,162.2万円	△6,013.1万円	△3.9%
	下水道事業	30億0,824.3万円	△2億9,544.1万円	△8.9%
計	143億6,061万円	2,286.5万円	0.2%	
合計	466億2,531万円	△25億7,173.5万円	△5.2%	

※企業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計額。
前年度比較の△印は、減額を意味します。

通建設事業を大幅に削減したほか、財源不足を基金の取り崩しで対応せざるを得ない状況になりました。こうした極めて厳しい財政状況のなか、合併協議が白紙となり、今後岡谷市は自立の道を歩むことになりませんが、岡谷市にとって、平成17年度は、第3次岡谷市総合計画後期基本計画の2年目となることから、基本計画の内容を十分に踏まえつつ、当市のまちづくり

の特色を失わずに生き抜いていくための再出発の予算として、全ての行政施策の総点検を行うとともに、将来を見据えた各施策の立案に努めました。
17年度の岡谷市の当初予算は、「安全と人命」「集中と縮小・廃止」を基本的な考え方とし、快適で安全に安心して住むことができるまちづくりを進めるための基本方針として、①中核的機能を担う拠点

都市をめざして②快適で安全な住都市をめざして③健康で生きがいをもって暮らせる福祉都市をめざして④豊かな心とかおり高い文化を育む生涯学習都市をめざして⑤時代変化に柔軟に対応できる産業都市をめざして⑥市民と行政の連携による計画の推進
以上6つの柱を基調として予算の編成を行いました。
予算規模は、一般会計209億3500万円（前年度比10.2%減）、特別会計113億2970万円（前年度比1.9%減）、企業会計143億6061万円（前年度比0.2%増）、総計466億2531万円（前年度比5.2%減）となります。
17年度予算の重点施策は、①産業振興施策の推進②安心安全のまちづくりの推進③子育て支援の推進④健康づくりの推進⑤都市基盤整備の推進⑥学校施設整備の推進⑦市民と行政との協働の推進となりませんが、以上のほか、環境保全の施策や生涯学習推進事業、スポーツ振興施策等にも積極的に取り組んでいきます。
地方分権の進展や三位一体の改革を踏まえ、大変厳しい財政状況の中で自立のまちづくりを推進するためには、ますます厳しくなる財政状況の中にあっても、将来にわたり必要な市民サービスの提供を確保するとともに、各種課題に的確に対応していくことが求めら



れています。
予算編成の中でも職員管理職手当・特殊勤務手当の削減などを行ったほか、事務事業の見直しや補助金の廃止等、一定の措置をしてきましたが、行財政改革をこれまで以上に推進し、確固たる行財政の基盤を再構築するため、17年度中に「行財政改革プラン」を策定していきます。プラン策定にあたっては、岡谷市行財政改革プラン策定市民会議を立ち上げ、市民のみなさんご意見を聞きながら、みなさんとの協働により進めていきたいと考えています。
これからも、市民のみなさんご意見やご要望が施策に反映される、市民のみなさんとともに歩む市政を実現し、市民一人ひとりが快適で安全に安心して住むことができ、強さと優しさを兼ね備えたまちづくりを推進していきます。

予算の大綱

歳入

歳入の主要な一般財源である市税は、前年度より3200万円の減と見込みました。

地方交付税は、国から交付されるお金で、使い道が制限されていません。額はその自治体の財政力などにより決められ、前年度より5000万円の増です。

諸収入は、ほかの収入科目に含まれない収入をまとめたもので、前年度より5億5791万円の減です。

市債は、建設事業など多額の財源を必要とする場合に一定のルールで借り入れるものと、減税や地方交付税の振替財源として、国の制度に基づいて借り入れるものがあり、前年度より10億398万円の減です。借り入れの返済は、歳出の公債費で計画的に償還が行われます。

国庫支出金は、土地区画整理事業などの特定の事業に対して、国から補助されるお金で、前年度より1億3969万9千円の減です。

地方消費税交付金は、地方消費税の2分の1が県から市に交付されるお金で、前年度より5100万円の増です。

繰入金金は、前年度より6億1500万円の減です。

使用料および手数料は、公共施設などの使用料や各種の行政サービスに関する手数料等で、前年度より1374万5千円の減です。

歳出

民生費は、みなど保育園整備事業、福祉作業所・まゆみ園整備事業費の減等のため前年比8.7%の減です。

公債費は、借換債分の減等のため前年比16.5%の減です。

商工費は、中小企業金融対策費の減等のため前年比10.4%の減です。

土木費は、田中線住宅建設事業、下水道事業会計支出金等の減等のため前年比14.4%の減です。

総務費は、イルフプラザ管理費の商工費への移行、(株)やまびこスケートの森貸付金の減等のため前年比11.5%の減です。

教育費は、北部中学校南校舎耐震改築事業費の増等のため前年比1.4%の増です。

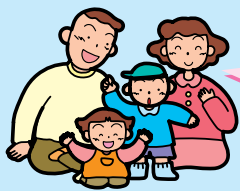
衛生費は、病院事業会計負担金の減等のため前年比7.4%の減です。具体的な事業を、6・7ページに基調別にご紹介します。

予算編成6つの基調 (第3次岡谷市総合計画の6つの柱)

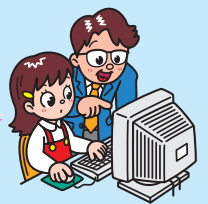
平成17年度 予算重点施策

- ①産業振興施策の推進
- ②安全安心のまちづくりの推進
- ③子育て支援の推進
- ④健康づくりの推進
- ⑤都市基盤整備の推進
- ⑥学校施設整備の推進
- ⑦市民と行政との協働の推進

中核的機能を担う拠点都市をめざして
(都市基盤整備の推進)



豊かな心とかおり高い文化を育む生涯学習都市をめざして
(教育文化の振興)



快適で安全な定住都市をめざして
(生活環境整備の推進)



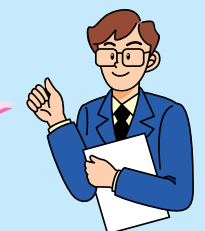
時代変化に柔軟に対応できる産業都市をめざして
(産業の振興)



健康で生きがいをもって暮らせる福祉都市をめざして
(健康福祉の推進)

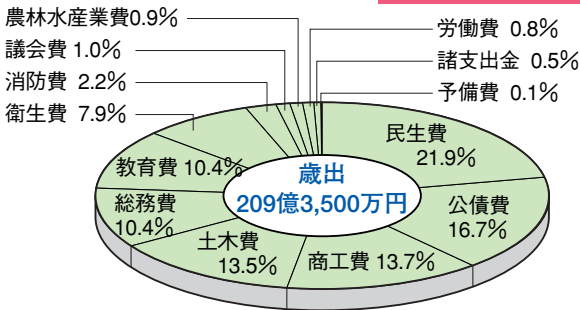


市民と行政の連携による計画の推進(財源の重点的、効率的配分、一般行政経費の抑制、健全財政の保持)



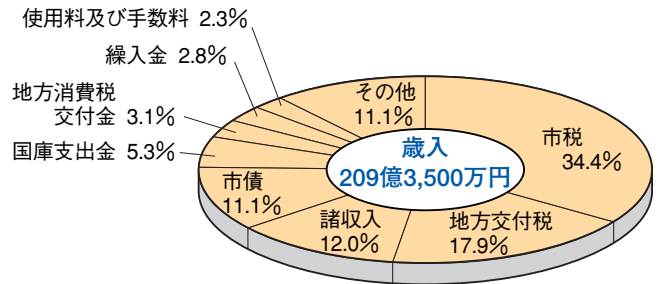
一般会計

歳出



区分	予算額	構成比	前年度比
民生費	45億8,868.4万円	21.9%	△8.7%
公債費	34億9,741.8万円	16.7%	△16.5%
商工費	28億6,272.6万円	13.7%	△10.4%
土木費	28億1,819.3万円	13.5%	△14.4%
総務費	21億8,530.8万円	10.4%	△11.5%
教育費	21億6,738.4万円	10.4%	1.4%
衛生費	16億5,468.1万円	7.9%	△7.4%
消防費	4億6,709.4万円	2.2%	△5.0%
議会費	2億1,518.7万円	1.0%	△0.7%
農林水産業費	1億9,197.6万円	0.9%	△10.9%
労働費	1億6,634.9万円	0.8%	△2.2%
諸支出金	1億円	0.5%	0.0%
予備費	2,000万円	0.1%	0.0%
合計	209億3,500万円	100%	△10.2%

歳入

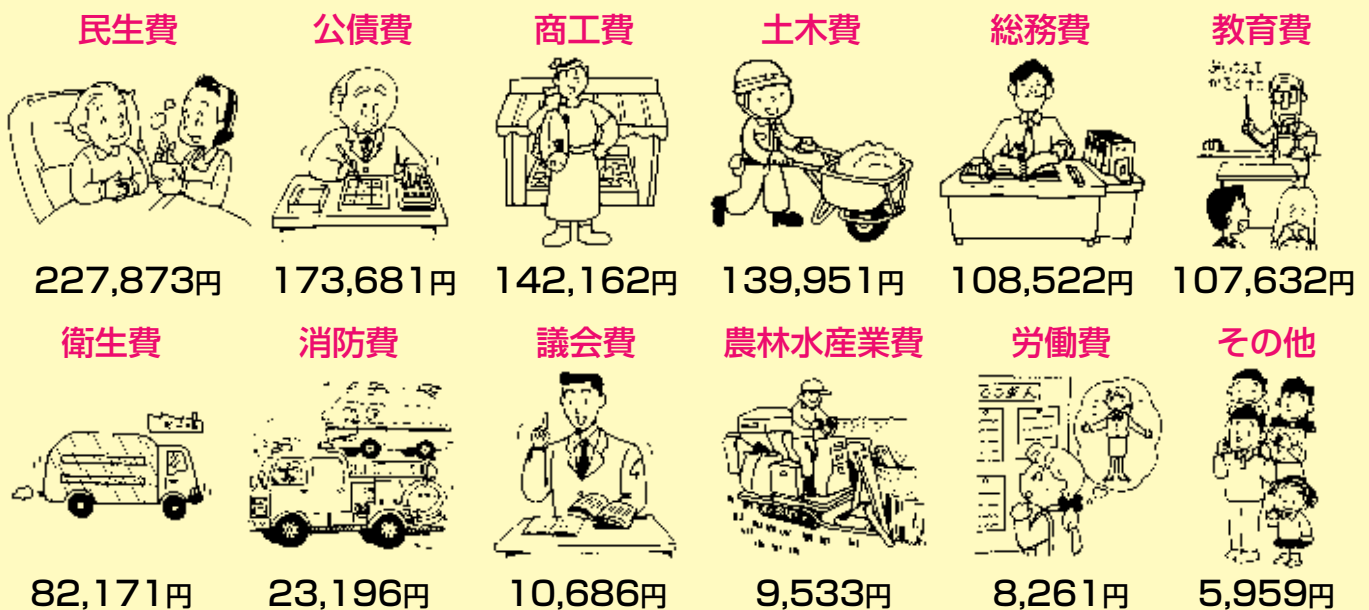


区分	予算額	構成比	前年度比
市税	72億 900.0万円	34.4%	△0.4%
地方交付税	37億5,000.0万円	17.9%	1.4%
諸収入	25億1,734.4万円	12.0%	△18.1%
市債	23億3,360.0万円	11.1%	△30.1%
国庫支出金	11億 348.6万円	5.3%	△11.2%
地方消費税交付金	6億4,100.0万円	3.1%	8.6%
繰入金	5億7,900.0万円	2.8%	△51.5%
使用料及び手数料	4億7,839.1万円	2.3%	△2.8%
その他	23億2,317.9万円	11.1%	△4.9%
合計	209億3,500.0万円	100%	△10.2%

※その他には、県支出金、分担金および負担金などが含まれています。

◆市民1世帯当たりで使われるお金

合計 1,039,627円 (参考：市税1世帯当たり 357,998円)



= 平成17年3月1日現在の世帯数 20,137世帯で計算 =

平成17年度予算6つの基調（主な事務事業）

▷印は継続事業 ●印は新規事業 ■印は重点施策（※1万円未満は四捨五入してあります）

1 中核的機能を担う拠点都市をめざして

▷岡谷駅南土地区画整理事業 4億8,609万円

家屋移転、造成工事を実施、測量等行い換地計画に備えます。

▷湖畔若宮土地区画整理事業 4,457万円

アンケート結果を踏まえ、粘り強く合意形成に努めます。

●岡谷駅前整備事業 1,542万円

岡谷駅前ラオカヤビルを、市民ニーズに合致した駅周辺地域の活性化を促す施設として整備するため再生計画を作成します。

▷大学誘致推進事業 148万円

▷岡谷湖畔公園整備事業 5,290万円

▷シルキーバス運行事業補助金 3,024万円



岡谷駅前再整備のイメージスケッチ

2 快適で安全な定住都市をめざして

▷公共施設の耐震改修の実施 8億6,090万円

耐震診断の結果に基づき、学校、病院、保育園、市営住宅、市民屋内プール等の耐震改修を実施します。



耐震改修後の小井川小学校教室棟

●第2次防災資機材備蓄事業 486万円

非常食、毛布など防災資機材の備蓄をすることにより、防災体制の一層の充実を図ります。

▷住宅用太陽光発電システム設置補助事業 1,200万円

▷廃蛍光管リサイクル事業 641万円

▷生ごみリサイクル事業 454万円

●湖北火葬場建替え整備事業 259万円

▷第4次道路整備5か年計画事業 4億7,140万円

第4次道路整備5か年計画の2年目として、引き続き身近な生活道路および主要幹線道路の整備を推進します。

▷都市計画道路 東町線（2期）事業 1億9,854万円

●都市計画道路 東堀線事業 1,487万円

●都市計画基本図作成事業 1,590万円

●住宅リフォーム資金助成事業 1,000万円

●消防団員被服等更新事業 300万円

●林野火災防ぎょ用背負い式水のう配備事業 124万円

▷消防水利整備事業 1,560万円

●上水道基本計画策定事業 1,560万円

▷水道事業建設改良事業 4億113万円

●小井川浄水場排泥処理施設整備事業 910万円

▷公共下水道整備事業 1億6,000万円

3 健康で生きがいをもって暮らせる福祉都市をめざして

▷福祉タクシー運行事業 4,875万円

●パワーリハビリモデル事業 458万円

確実な予防効果と介護保険給付削減を図り、健康づくり介護予防を支援する仕組みの検証を行います。



▷地域サポートセンター設置促進事業 480万円

●シニアからのヘルスアップ事業2005 325万円

高齢者の健康増進・身体機能維持等に理解を深め、自己の生活習慣を見直し高齢者の交流などを図ります。

▷保育園整備事業 5,353万円

保育園運営計画に基づき保育園舎等の施設整備を行います。

▷延長保育事業 3,418万円

▷みなと保育園建設等整備事業 1,640万円



建設中のみなと保育園

- ▷3歳以上の第3子以降保育料を無料化 4,330万円
- 保育補助員設置事業 63万円

●ここにこ子育て支援事業 251万円

子育て中の親子が交流できる場、子育てに関する相談および情報の提供など育児支援を行います。

- 「食で健康」いろいろメニューレシピ集普及事業 55万円
- ▷岡谷病院医療機械器具整備事業 1億5,460万円
- ▷塩嶺病院医療機械器具整備事業 1億円
- 病院統合基本計画策定事業 600万円

4 豊かな心とかおり高い文化を育む生涯学習都市をめざして

▷小中学校耐震改修事業 4億1,844万円

岡谷北部中学校南校舎の改築工事など耐震改修を引き続き実施します。

▷小学校低学年用プール建設事業 5,234万円

低学年の児童が水を怖がらずに水泳を行える専用プールを計画的に整備しており、17年度は岡谷小学校および川岸小学校への整備を行います。



完成した神明小学校の低学年用プール

●30人規模学級5年生拡大事業負担金 275万円

●ファーストブック事業 94万円

乳幼児から本に親しめる心を育てるとともに、子どもと親とが言葉による絆を深める大切さを伝え、家庭の教育力・育児力を育むことを図ります。

- 視聴覚資料等一般貸出し充実事業 100万円
- ▷市営庭球場全天候型コート化改修事業 2,800万円
- ▷緑と湖のまちふれあいフェスタ事業 1,400万円
- 第4回日本童画大賞展開催事業 500万円
- ▷国際交流員受入事業委託料 573万円
- 岡谷市・マウントブレザント市姉妹都市40周年記念事業 365万円

5 時代変化に柔軟に対応できる産業都市をめざして

●工場団地造成事業 200万円

岡谷市の工業集積を維持し続けるために良好な工場用地を提供します。

●企業誘致基礎調査事業 37万円

企業誘致を推進することにより、工業の一層の振興を図ります。

▷岡谷市商工業振興条例助成補助金（内容の充実）

3,150万円

工場等の新設・移転等や商店街環境整備に対し必要な助成措置を行い、商工業の振興・発展を図ります。

●新規成長産業分野参入支援事業 1,000万円

●芝浦工業大学産学連携推進事業 326万円

新学部誘致など岡谷市とつながりの深い芝浦工業大学

と、スマートデバイス産地形成を目指す市内企業と連携を図ります。

●岡谷市・山梨大学包括協定事業（ナノ加工融合プロジェクト） 1,520万円

山梨大学で新たにナノ技術加工を開発し、岡谷市の中小企業に優先的に伝承することでスマートデバイスの世界的供給基地を目指します。

- 創業者総合支援補助金 390万円
- 5S実践工場支援事業 144万円
- TMO設立支援事業 468万円
- 塩嶺小鳥の森活用事業 363万円
- ▷農道水路整備事業 1,300万円
- ▷林業振興事業 2,075万円

6 市民と行政の連携による計画の推進

●市民総参加のまちづくり推進事業 25万円

市民総参加のまちづくりのより一層の推進を図ります。

●岡谷市ホームページバリアフリー化事業 62万円

●行財政改革プラン策定事業 37万円

自立のまちづくりを推進し、必要な行政サービスの確保と特色あるまちづくりを継続できるように、これまで以上の行財政改革を推進するための計画を策定します。